
OFFICE BANKシリーズの「新元号対応」に伴う変更点

OFFICE BANKシリーズの「新元号」対応に伴う、変更点をご説明します。

- 対象製品および機能搭載バージョン
- 製品上の対応

【対象製品および機能搭載バージョン】

- ・ OFFICE BANKシリーズ共通 4月下旬出荷バージョン

※ 上記のバージョン情報は予定のため、変更になる可能性があります。

【OFFICE BANK Valueの対応】

2019年5月1日以後は、新元号の日付で運用します。
今までは「平成」固定でしたが、新元号が追加されます。

	元号	イニシャル	開始日付（改元日）	
1	明治	M	1868/09/08	
2	大正	T	1912/07/30	
3	昭和	S	1926/12/25	
4	平成	H	1989/01/08	
5	●●	▲	2019/05/01	← 新元号追加

- 日付の暦「西暦」「和暦」は、[表示設定]メニューの「使用する暦の設定」で設定します。
※ 「西暦」で運用している場合は、入出金明細、個人住民税納付を除き、改元の影響は受けません。
- 画面表示や印刷・転送・受信結果の外部出力では、暦の設定にしたがい日付を出力します。
和暦の場合は、改元日（2019年5月1日）以後は新元号で出力します。

【OFFICE BANK Value 資金集中管理システムの対応】

変更点はありません。

- [各種管理]-[仕訳伝票作成]メニューで、「出力する暦の設定」を「和暦」に設定して、
ファイル出力を行っている場合、
改元日（2019年5月1日）以後も、「平成」の日付でファイルが出力されますが（例：31/05/01）、
勘定奉行、奉行J-会計編-で、正しく受け入れができます。

【OFFICE BANK21シリーズの対応】

2019年5月1日以後は、新元号の日付で運用します。

「平成」の後に、新元号が追加されます。

<u>元号</u>	<u>イニシャル</u>	<u>開始日付（改元日）</u>
平成	H	1989/01/08
● ●	▲	2019/05/01 ← 新元号追加

- 日付の暦「西暦」「和暦」は、
[環境設定]-[システム環境設定]メニューの「使用する暦の設定」で設定します。
※ 「西暦」で運用している場合は、入出金明細、地方税納付を除き、改元の影響は受けません。
- 画面表示や印刷・転送（OFFICE BANK21 ならびに OFFICE BANK21 資金集中・配分システム）、
受信結果の外部出力（OFFICE BANK21）、
仕訳伝票作成（OFFICE BANK21 資金集中・配分システム）では、
暦の設定にしたがい日付を出力します。
和暦の場合は、改元日（2019年5月1日）以後は新元号で出力します。